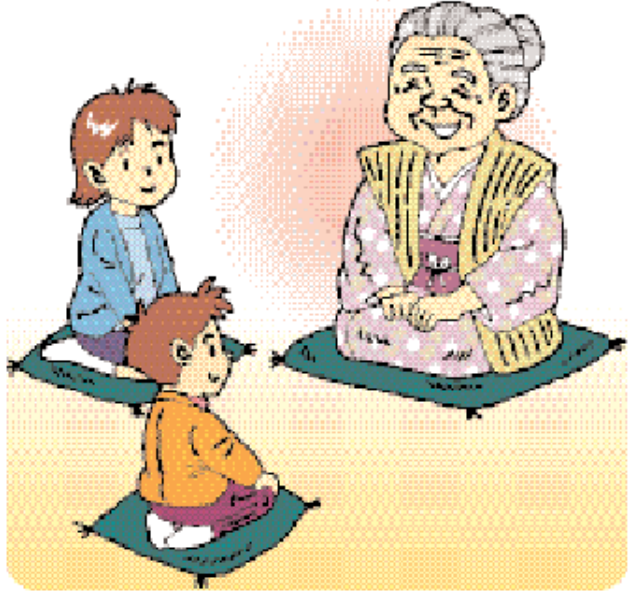


# この日 ちよつと むかひ

あけましておめでとぅいびいびいびい。今年も、タマおばあさんに語ってもらおう形でございらの昔をまとめました。今と違ったお正月を比べてみませんか。



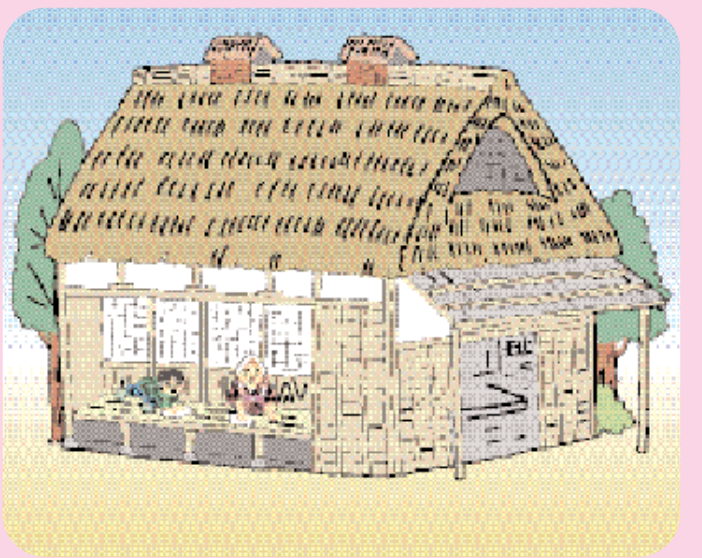
お正月の三が日の朝はね、お父さんが、早く起きて神棚にお供えを上げて、祝膳の支度をするの。と言つても、大みそかにお母さんたちがお雑煮に入れる小松菜を洗っておいたり、大根や里芋なんかをゆでたりして、ちゃんとしておしらえしてくれてるんだよ。だから三が日は、お父さんが大忙しでおつゆを温めたり、いろいろのおもちを焼いたりするんだよ。そこへお母さんがゆつくりとお正月らしく身支度して出て

# 三が日

くるんで、なんだかおもしろかったよ。

祝膳といつても、お雑煮にちくわとこんにゃくの煮物ぐらいで、今では珍しいものだけど、昔はおもちを食べられるだけでもごちそうだったの。

友達の家ではね、元旦に家族全員で家中をぞうきんがけするつて言つてたよ。大きいかまにお湯を沸かし、それこそ天井のほりから敷居まで隅々拭き清めたつて。「拭く」は「福」に通じるつていって、元旦に家中を拭いて福を呼び込むんだね。そのときに「あ、ふく」つて言いながら拭くんだつて。



うちでは、三が日の間、拭き掃除はいいけど、ほうきを持つちやいけな、つて言われた。ほうきで掃き出すとその年の福を掃き出しちやうからだつて。昔はごろ合わせが多かつたね。

ふだんは家の仕事を手伝つたり、弟や妹の面倒を見ないといけないでしょ。お正月は近所の友達やいとこや羽根つきができて楽しかつたの。

# うさぎ狩り

昔は野うさぎがいてね、畑のお茶の木の下なんかに隠れているの。

ここいら辺は畑の仕切りにお茶の木を植えてあつたから、ちよつと隠れやすいんだね。

雪が降つて近所の家でうさぎ狩りをするとき弟はよく手伝われたんだよ。うさぎは、すばしこくてふだんは捕まえられないんだけど、雪が降ると足跡がつくでしょ。うさぎは一度通つた所を必ず戻ってくるというんで、足跡のついてる場所に網を張つておくんだつて。



◇市報は、新聞折り込みで配布しているほか、市の施設、市内の各駅・郵便局・JAなどにも置いてあります。新聞を購読していない世帯には、郵送しますのでお申し出ください。

# 初まり

わたしが子どものころは、大みそかの晩から元旦の朝にかけて初参りに行つたんだよ。今は初詣つて言うけど、昔は初参りつて言つたね。

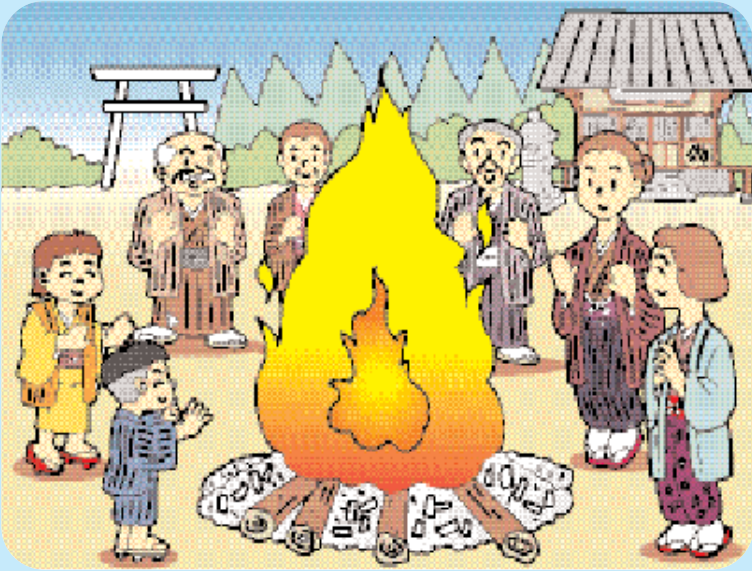
をしたり、いろんな話をしたりしてね。子どもも友達やいとこたちで会つていよ。みんなおろしたての着物を着せてもらつて、いつもよりちよつとよそ行きの格好をしてるんだよ。

近くの神社なんだけど、行くまではとつても寒い。だげと境内では古いお札を燃やしていてね。それが8畳間ぐらいもある大きなたき火で、ほんほん燃えてるからちよつとも寒くないの。たき火のまきは暮れに近所の家で出すんだよ。

昔は新しいものをおろすのはお正月つて言われて、それまでは着せてもらえないの。今は洋服でも靴でも買ってもらうつたら、すぐおろすつてね。

初参りに来るのは近くに住む人ばかりだから、みんな知り合いでしょ、大人は火を囲んで新年のあいさつ

初参りのときに、新しく縫ってもらつた着物なんかを着せてもらうつてうれしくてね。なんだかとも晴れがましい気分がしたよ。



会う友達もみんなここに参道には、こんにゃくの味噌を付けたの、縁起物や

風船、味付けの貝のひも、飴なんかを売る露店も出ていてね、それを買つてもうのも楽しみだつたの。

# 七草がゆ・福開き



七日にはお供えをみんな下げて、松飾りをしてある家は、それも片づけるの。朝は七草がゆを食べるんだけど。本当の七草はそろわないから、なすなど大根(すずしろ)、後はにんじんなんかの野菜を入れて7種類にしたんだよ。

「七草なすな 唐土(とうど)の鳥が 渡らぬうち」すとの鳥の「とんとん」そう言いながら、お母さんが七草がゆに入れる野菜を刻んだの。そのときに一気に言わなといけないでしょ。

七草がゆはすぐおなかですいちゃうから、うちじや、小さく切つたおもちが入つたの。十一日は今は鏡開きとい

うけど、昔は蔵開きといつて、蔵を開けたんだよ。お供えもちで作つたお雑煮を、蔵に上げてみんな食べてたの。

おもちはおちそうで、たぐさんついたら、カビが生えないように水の中につけて、水もちにしていつまでも食べれたんだよ。みんな学校のお弁当にまで、おもちの焼いたのを持っていつてね。わたしはおもちが好きで、おもちの弁当がうれしかったよ。柔ら



タマおばあさんのお話、いかがでしたか? ご感想を小平民話の会(高津☎042(343)6077)か広報広聴課まで、どうぞお寄せください。